

市長マニフェスト 主な取組状況 (令和5年10月現在)

マニフェスト	ページ
I 新型コロナから市民のいのち、暮らし、しごとを守る。	
1. 徹底した感染防止対策と、経済対策とを両立させる。	1
II 鹿児島に稼げる仕事をつくる。	
2. コロナ後に対応できる、新しい産業・仕事をつくる。	2
3. 世界から観光客を集める・国際都市KAGOSHIMAをつくる。	3
4. ICTを活用しもっと住みよい鹿児島をつくる。	5
III 全ての人に、希望とチャンス。安心して生活できる鹿児島をつくる。	
5. 安心できる子育て環境をつくる。	6
6. 稼げる力。「たくましい鹿児島の子」をつくる。	7
7. 人生100年時代。「持続可能な」生きがいにあふれる福祉。	8
IV 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる。	
8. 「持続可能」なまちづくり。「持続可能」なくみづくり。	9
9. 現在そして将来の課題に今から対応できる鹿児島をつくる。	10
10. 新しい時代。民間のチカラを活かし、「これから」の鹿児島市政をつくる。	11

I 新型コロナから市民のいのち、暮らし、しごとを守る。

1 徹底した感染防止対策と、経済対策とを両立させる。

- №1 新型コロナから市民のいのちを守ります。
- №2 新型コロナから医療・介護・障害福祉従事者等を守ります。
- №3 新型コロナから地域経済を守ります。
- №4 コロナ後の地域経済ビジョンを策定します。
- №5 市長給与を50%カットします。

№ 1

■子育て世帯への特別給付金の支給

- ・ 応援特別給付金 103,659人 (4～5年度)
- ・ 生活支援特別給付金 34,385人 (3～5年度)

■女性のつながりサポート

- ・ 居場所づくり 3か所・各月2回 (4年度～)
- ・ 生理用品の配布 25か所 (4年度～)
- ・ 支援員の養成 (5年度)



■分娩前のPCR検査費用の助成など妊産婦に寄り添った支援

№ 3

■事業継続や雇用維持を下支えする支援金の給付

- ・ 家賃支援 6,478件 (3～4年度)
- ・ 雇用維持支援 2,915件 (3～4年度)

■プレミアム付商品券の発行などを行う商店街への助成

4年度：9団体 5年度（8月末）：10団体

※参加商店街・通り会数

4年度：41団体 5年度（8月末）：40団体

■市独自のクーポンによる宿泊需要の回復キャンペーン

■民間路線バス及びタクシー事業者の運行維持への支援

4年度：路線バス446台 タクシー1,781台

5年度（8月末）：路線バス408台 タクシー1,468台



こんなことにも取り組みました

- 【No.2】 医療従事者等の新型コロナワクチン優先接種の実施、障害福祉サービス事業所等への衛生用品配付、児童クラブ職員、保育士等の処遇改善への補助
- 【No.4】 ウィズコロナ・アフターコロナの中期経済ビジョンの策定 (4年6月)
- 【No.5】 市長給与の50%減額 (3年4月～4年3月)

II 鹿児島に稼げる仕事をつくる。

2 コロナ後に対応できる、新しい産業・仕事をつくる。

No6 中小企業振興を推進します。

No7 中小企業振興基本条例を制定します。

No8 積極的な起業支援

No9 戦略的な企業誘致に取り組みます。

No10 生産性を上げて、賃金を増やします。

No11 出身者は鹿児島市の宝！連携強化を進めます。

No12 スマート農業を強力に推進します。

No13 「稼げる農業」実現へ、農地の有効活用を進めます。

No14 「稼げる林業」づくりに取り組みます。

No15 「稼げる水産業」づくりに取り組みます。

No16 鳥獣被害対策を進めます。

No 6

■クリエイティブ人材の誘致

- ・首都圏に加え関西圏及び福岡市でのU | Jターンイベント開催（5年度）
- ・移住クリエイター交流会（4年度:2回、5年度:2回予定）
- ・移住補助金の交付（4年度:3件、5年度:1件(8月末現在)）

■中小企業者の海外への販路拡大を支援

4年度： 2件 5年度： 1件（8月末現在）



No 8

■女性・学生・シニア起業チャレンジ支援

- ・起業セミナー
女性対象 4回（2、4～5年度）
シニア対象 3回（2、4～5年度予定）
学生対象 4回（2、4～5年度予定）
- ・大学での起業家による出前講座
8回（5年度8月末）



No 12

■首都圏での鹿児島ファンの拡大

- ・渋谷で焼酎と音楽で
マグマシティ鹿児島
市を発信（5年5月）
- ・魅力体感イベント
（5年11月予定）
- ・若年層や首都圏をター
ゲットにしたSNS広告（5年度）



■スマート農業の推進

- ・先端技術の現地実証（4年度～）
- ・機器等の導入支援（5年度）
- ・スマート農業技術を
学ぶ海外視察研修へ
の支援（5年度）



こんなことにも取り組みました

【No.7】 中小企業振興基本条例の制定（4年4月施行）

【No.9】 プレスリリース配信サービス等を用いた企業立地のPR活動等

【No.10】 中小企業者の生産性向上や人材育成、販路拡大、越境ECサイト導入、SNS広告等への助成

【No.13】 6次産業化による付加価値の高い商品開発に必要な加工施設・機器の整備、研修会の実施

【No.14】 新生児に対する県産木材を使用した製品の贈呈（6年1月～予定）

【No.15】 各種商談会への参加、国内外バイヤーの招へい

【No.16】 電気柵等の導入や有害鳥獣捕獲活動への支援、ジビエ料理に関する情報発信・PR

3 世界から観光客を集める・国際都市KAGOSHIMAをつくる。

No17 クルーズ船の経済効果を高めます。

No18 市民総ぐるみで国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げます。

No19 障害のある人も、ない人も、安心して周遊できる「ユニバーサルツーリズム」先進県をつくります。

No20 ネットを活用した、多言語対応の観光誘客

No21 鹿児島市在住経験外国人のネットワークを構築します。

No22 インバウンド対応の人材育成

No23 国際会議・各種大会の誘致を進めます。

No24 イスラム教徒向け「ハラール」など、各地域に合った誘客を推進します。

No 18

■ようこそかごまへ！かごしま国体・大会を盛り上げる取組

- ・おもてなしや本市観光情報を伝える動画を用いたプロモーション
- ・観光PRキャラクター「西郷どん」を活用した国体・大会のPRや本市魅力の発信



No 22

■魅力あるガイド付きツアーの造成・ブラッシュアップ

- ・多言語ガイド向け実践的研修（商品化）4年度：8ツアー

■かごしま観光未来塾

- ・マーケティング・マネジメント等を担う高度な観光人材の育成（年4回実施、4年度～）



No 23

■鹿児島アリーナのリニューアル検討

- ・スポーツ・イベントを見て楽しめる機能の向上を図るリニューアルを検討

■アジア太平洋都市サミットの開催準備

- ・「アジア太平洋都市サミット(R6年度・本市開催)」に向け、特設ウェブサイト等の準備を実施



こんなことにも取り組みました

- 【No.17】 いづろ交差点付近への貸切バス乗降場を増設、官民一体となった観光案内等
- 【No.19】 宿泊施設及び飲食施設のバリアフリー化への補助等
- 【No.20】 かごしま市観光ナビ、パンフレット等の多言語化
- 【No.21】 帰国する留学生等をフレンドシップパートナーとして委嘱、SNSによる交流
- 【No.24】 民間事業者等のフードダイバーシティ（食の多様性）の取組への支援

№25 体験型観光を進めます。

№26 伝統的工芸品振興

№27 鹿児島市を舞台としたコンテンツの制作振興

№28 観光資源となる「稼げる」スタジアム整備

№29 プロスポーツ等のホームゲームの盛り上がりをつくります。

№30 スポーツ合宿の誘致

№31 市電延伸の検討を進めます。

№32 磯新駅の整備

№33 水上交通の整備を検討します。

№34 リバーサイドの整備

№35 eSportsの振興

■夜間等の観光コンテンツ創出に向けたナイトタイムエコノミーの実証実験（5年9月～）

■体験型観光メニューの魅力向上や販売力強化の支援

■SAKURAJIMAサイクルツーリズムの推進

- ・桜島を周回するサイクルツーリズムの実証実験（4年度）
- ・ストラスブル市との交流の一環として、日本を縦断する自転車イベントの参加者と交流（5年10月予定）



№ 25

■多機能複合型スタジアム整備検討

- ・「稼げる」スタジアム像の調査分析、シンポジウム開催（3年度）
- ・需要予測等調査、機運向上イベント開催（4年度）
- ・北ふ頭での整備可能性の検討（5年度）
- ・多機能複合型スタジアム検討協議会の設置（5年7月）
- ・学生によるワークショップ開催（5年8月～10月予定）



№ 28

■甲突川リバーサイドの利活用

- ・甲突川リバーサイドフェスの開始（5年9月～）
- ・甲突川千本桜再生プロジェクト（5年度：実態調査）



№ 34

■eスポーツの振興

- ・eスポーツの振興や認知度向上を目的としたeスポーツイベントの開催（5年7月）



№ 35

こんなことにも取り組みました

- 【No.26】 伝統的工芸品をテーマとしたイベントの民間事業者との共同開催
- 【No.27】 映像制作者への情報提供や撮影許可申請手続き等の支援
- 【No.29】 鹿児島ユナイテッドFCや鹿児島レブナイズのホームゲームにおける賑わい創出イベント等
- 【No.30】 世界水泳選手権大会に出場するイギリス競泳チームの合宿の受入、南アフリカとの交流イベント（ラグビーW杯のパブリックビューイング等）
- 【No.31】 路面電車観光路線の検討
- 【No.32】 磯新駅設置協議会等と連携した磯新駅整備に向けた取組
- 【No.33】 桜島と錦江湾を生かした新たなクルーズの調査・研究

4 ICTを活用しもっと住みよい鹿児島をつくる。

№36 ICT関連産業振興に取り組みます。

№37 新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。(DXの推進)

№38 行政手続のデジタル化を進めます。

№39 テレワークを行う企業の誘致に取り組みます。

■未来のICT人材の育成

- ・プログラミング体験セミナーの開催
高校生向け：2回（5年7・12月予定）
大学生・専門学校生向け
：2回（5年10・12月予定）
- ・ICT人材による出前講座
3回（5年7・10・12月予定）



№ 36

■「DX推進部」の新設（5年4月）

■ICTで住みよいまち推進基盤の構築

マイナンバーカードを活用した各種サービスを利用できるようにするための基盤の構築（6年3月開始予定）

■道路通報システムの導入

- ・市LINE公式アカウントから、市道の不具合等を通報できるシステムの構築（5年度予定）

■映像の共有による迅速・的確な災害対応や応急手当

- ・119番映像通報システムの構築・運用（5年10月～）
- ・現場中継システムの構築・運用（5年10月～）

■運賃クレジットカードタッチ決済の導入

4年度：市電全車両へ導入 5年度：市バス全車両への導入（6年1月予定）



№ 37

■オンラインで手続きに必要なものや窓口を案内するサービスの導入（5年11月予定）

■口座振替Web等受付サービスの導入（6年1月予定）

■窓口手続オンライン化の推進

- ・マイナポータルでオンライン申請できる手続きを開始（5年2月～）
- ・対象手続の拡充（5年4月～）

■住民異動手続き等における「書かない窓口」の実現（6年2月予定）

■公共施設予約システムの整備

- ・予約から利用料の支払いまでをオンライン完結するシステム導入（5年4月～）
- ・同システムの対象を新たに6施設追加（6年4月予定）



№ 38

こんなことにも取り組みました

【No.39】企業立地に対する補助メニューにテレワークに要する経費を追加

Ⅲ 全ての人に、希望とチャンスをも。 安心して生活できる鹿児島をつくる。

5

安心して子育て環境をつくる。

No40 待機児童ゼロを実現します。

No41 保育士の確保策を講じます。

No42 地域子育て支援センターの充実強化

No43 病児保育体制の整備

No44 児童相談所の早期整備と機能充実

No45 こども医療費の負担軽減

No46 子どもを産み・育てる親に寄り添う取り組みを進めます。

No47 「貧困の連鎖」を防ぐために取り組みます。

No48 発達障害の療育支援を行います

No49 スクールロイヤールの導入を図ります。

No50 通学路の安全確保

No 40

■SMSを活用した保育所等の空き情報の提供

■利用定員の拡大

- ・賃貸物件を活用した保育所等や小規模事業所を設置する際の改修費等への補助
- ・中山保育園の改修（5年9月～）

■保育士や保護者の負担軽減

- ・使用済み紙おむつの処理経費への助成等
- ・官民連携による紙おむつの定額利用サービスの試行

■児童クラブの整備等

市設置児童クラブ数 3年度：176 ⇒ 5年度：180
民間設置児童クラブ数 3年度：27 ⇒ 5年度：35



No 46

■子育て情報AIチャットボットの導入（6年1月予定）

■不妊治療費の一部を助成（5年度）

■伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施（4年度～）

■子育て世帯訪問による家事・育児の支援（5年度）



こんなことにも取り組みました

【No.41】保育士等の奨学金返済への助成・処遇改善、保育士・保育所支援センターの鹿児島中央駅前への移転及び体制強化

【No.42】地域子育て支援センターの充実（5年度に8地域→13地域）に向けた取組

【No.43】病児・病後児保育施設の受付予約システム導入（4年10月）

【No.44】県農業試験場跡地を候補地として追加し、設置に向けた検討を実施

【No.45】こども医療費の窓口負担をなくす制度の対象拡充（3年4月）

【No.47】家庭での学習が困難な小・中学生を対象とした学習会の実施

【No.48】障害児通所支援等の提供

【No.49】法的観点から学校へ助言等を行うスクールロイヤールの導入（4年6月）

【No.50】交通安全を確保するための歩道やゾーン30の整備

6 稼げる力。「たくましい鹿児島の子」をつくる。

№51 キャリア教育の充実を図ります。

№52 IT関連教育を推進します。

№53 教育に、IT・インターネットを積極的に活用します。

№54 青少年の海外派遣、留学支援を広く行います。

№55 「外国人の友達を作ろう！」

№56 市立高校の振興と環境整備を図ります。

№ 51

■未来探究プログラムの推進

- ・中学生が地元企業と連携・協働し、社会課題の解決に取り組む学習を試験的に実施
(5年度：4校)



№ 53

■ワールドステップeラーニング

市立3高校における
スタンフォード大学
専任講師によるオン
ライン講座
(5年9月～6年3月)



№ 54

■高校生の海外留学への助成

■青少年の姉妹友好 都市等への派遣

〈派遣都市〉

パース市、マイアミ市、
長沙市、ストラスブール市、ナポリ市等



■市立小・中・高校におけるICT 環境の整備

- ・児童・生徒1人1台のタブレット
端末の整備(3・4年度)
- ・小・中学校にAIデジタルドリル
を導入(4年度～)

№ 56

■母校応援ふるさと寄附金

- ・市立3高校を対象とした寄附募集(3年度～)
- ・寄附金を活用した教育環境の向上・部活動への支援
5年度：鹿児島商業高等学校

■市立高等学校の活性化

- ・学識経験者等を委員とする委員会の設置(4年度)
- ・特色を生かした学校づくり等に関する協議



こんなことにも取り組みました

【№52】児童生徒の情報活用能力育成や教員の指導力向上のためのICT支援員の市立学校への派遣
【№55】国際交流センターにおける外国人住民との交流イベント等

7 人生100年時代。「持続可能な」生きがいにあふれる福祉。

No57 疾病予防・介護予防の促進

No58 健康診断受診率を向上させます。

No59 認知症を早期発見・早期治療できる仕組みを整備します。

No60 重度心身障害者等医療費制度の手続を簡素化します。

No61 障害者就労施設等への発注

No62 手話言語条例の制定

No63 バリアフリー化の推進

No64 高齢者の生きがい就労

No 59

■チームオレンジ設置・運営への支援

- ・認知症の方とその家族が、サポーターとともに地域での交流や見守り支援等を行う「チームオレンジ」の認定と運営支援（5年度：3チーム）



No 62

■手話言語及び情報・コミュニケーション条例(仮称)の制定に向けた取組

- ・障害者への実態調査、職員研修会及び外部会議の開催（4年度）
- ・外部会議の開催、パブリックコメント（5年度）



No 63

■バリアフリー化の推進

- ・小・中学校
3年度：2棟完了、1棟着工
4年度：3棟完了、2棟着工
5年度：1棟着工（予定）
- ・市営住宅
3年度：2棟完了
4年度：1棟完了、2棟着工
5年度：1棟着工
- ・市道
3年度：7線 4年度：5線 5年度：4線（予定）



こんなことにも取り組みました

- 【No.57】 医療・介護・健診データ分析による個別的支援、短期集中運動型サービスモデル事業
- 【No.58】 SMSの活用に向けた携帯電話番号の取得及び薬局と連携した特定健康診査の受診勧奨体制の構築、特定健診受診者（特定年齢対象者）に対する公衆浴場の入浴券の交付
- 【No.60】 重度心身障害者等医療費制度について自動償還払い方式への変更に向けたシステム改修
- 【No.61】 ナイスハートカフェ運営への支援
- 【No.64】 シルバー人材センターの運営に対する助成

IV 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる。

8 「持続可能」なまちづくり。「持続可能」なくみづくり。

№65 「持続可能性」を重視しSDGsの取り組みを進めます。

№66 環境と調和した再生可能エネルギーの開発・活用を進めます。

№67 避難所等における再生可能エネルギーの活用

№68 リサイクルの促進

№69 公共交通機関の利便性向上

№70 在来線の利用促進を図ります。

№71 空き家の有効活用を進めます。

№72 既存集落の過疎化対策に取り組みます。

№73 計画的なインフラ補修

№ 66 ・ 67

■市有施設への太陽光発電システム導入可能性調査（5年度）

■再生可能エネルギー活用計画の策定（4年3月）

■避難所への太陽光発電システムの導入

5年度（予定）：宇宿福祉館、西伊敷福祉館



■プラスチック製品の資源化
の試験的な実施（5年度予定）

■食品ロス削減推進計画
の策定（5年度予定）



■羽毛布団の資源化

4年度：2,600枚

5年度：1,318枚（8月末現在）

№ 68

■公共交通不便地における持続
可能な交通手段の調査検討

・学識経験者等で構成する
会議の設置・開催

・AIオンデマンド交通の
実証実験（無償）
（5年11月～6年1月予定）

■EVバスの導入

5年度：2両

№ 69



■市空き家バンクの運用
開始（5年8月～）

■桜島地域における
空き家マッチング
（3年度～）



№ 71

こんなことにも取り組みました

【No.65】修学旅行におけるSDGsプログラム造成への支援、

SDGs若者会議及びMY SDGs宣言キャンペーン（5年12月予定）

【No.70】本市が参画する協議会における在来線の利用促進策の検討・実施

【No.72】市街化調整区域等における各種施設の運営やイベントの実施

【No.73】道路照明灯のLED化に向けた全数調査及びデータベース構築（6年3月予定）

9 現在そして将来の課題に今から対応できる鹿児島をつくる。

No74 動物殺処分ゼロを目指します。

No75 同性パートナーシップ

No76 合併地域の均衡ある発展に向けた取り組み

No77 様々な状況に合わせた、避難所の質の確保

No78 学校のトイレ洋式化

No79 新たな総合体育館に関する連携・協力

No80 地籍調査を強力に推進します。

No81 団地再生を推進します。

No82 洪水ハザードマップの整備

No83 公文書管理条例を制定します。

No84 男女共同参画を推進します。

No85 防災会議の機能をより高め、市民の生命と財産を守ります。

No86 土地区画整理事業の推進

No87 多文化共生社会の構築

No88 投票率向上に取り組みます

■犬猫等の飼養者啓発

- ・自然死を除く殺処分数
犬：0頭 猫：0頭（3～5年度8月末）
- ・ミルクボランティアへ幼齢猫を譲渡（3～4年度）
- ・（公財）どうぶつ基金を活用した野良猫の不妊去勢手術の実施（4年度～）
- ・動物愛護サポーター登録制度の導入（5年度）



No 74

■地域の魅力・活力の共創

- ・地域活性化アドバイザーの配置（2名）
- ・地域と共に創るまちづくりプランの策定（5年3月）
- ・プランに基づく事業の実施（5年度）



No 76

■8・6豪雨災害30年関連事業

- ・教訓の継承及び防災意識の高揚を目的としたシンポジウムの開催等

■防災会議の運営

- ・各分野の専門家を委員に委嘱（3年6月）



No 85

こんなことにも取り組みました

- 【No.75】 パートナーシップ宣誓制度の導入（4年1月）
- 【No.77】 指定避難所となっている地域公民館及び地域福祉館へのWi-Fi整備
- 【No.78】 市立学校のトイレの洋式化（様式化率：58.2%（3年度末）⇒ 71.5%（5年度末予定））
- 【No.79】 県が整備予定のスポーツ・コンベンションセンターについて、県市連絡会を通じた情報共有・意見交換
- 【No.80】 紫原団地、桜ヶ丘団地の地籍調査
- 【No.81】 中心市街地や団地核の空き店舗等を活用した新規開業への助成
- 【No.82】 防災リーフレットの全戸配布やハザードマップ等の更新
- 【No.83】 公文書管理条例の制定（4年4月施行）
- 【No.84】 男女共同参画審議会、女性活躍に係るセミナーの開催
- 【No.86】 田上小学校周辺における土地区画整理事業に係る調査・検討
- 【No.87】 多文化共生推進指針の策定(5年3月)、生活情報ポータルアプリ「KagoTips」の開発・運用
- 【No.88】 模擬投票演説動画の作成、高等学校等での出前授業の実施

10 新しい時代。民間のチカラを活かし、“これから”の鹿児島市政をつくる。

No.89 データに基づく政策立案（EBPM）を推進します

No.90 事業の見直しを進めます

No.91 政策評価を充実させます。

No.92 公契約の適正化を進めます。

No.93 民間との公平な競争環境

No.94 ふるさと納税を集める取り組みを進めます。

No.95 ネーミングライツ等の積極的活用

No.96 市政の情報公開を進めます。

No.97 市民の声を聞く機会を増やします。

No.98 鹿児島市内全域で、市政報告会を開催します。

No.99 官民連携プラットフォーム

No.100 民間人材の積極的登用

■EBPMの推進

- 大学院等への職員派遣
市町村アカデミー（3年度～）
政策研究大学院大学、滋賀大学大学院（4年度～）
- 外部講師による職員研修（3年度～）
- 各種データのカタログ化・庁内共有（4年度～）



No. 89

■「ふるさと納税推進室」の新設（5年4月）

■ふるさと納税の推進

- マーケティングプロデューサーの配置（5年10月）
- 魅力的な返礼品の充実
5年4月：約740品 ⇒ 5年8月：約880品
- 民間ポータルサイトの追加
5年4月：4サイト ⇒ 5年8月：9サイト
- 企業版ふるさと納税のマッチング支援の強化



No. 94

■民間から提案を募る「官民連携プラットフォーム」の構築・運用（4年10月～）

運用状況（5年8月末現在）

- 提示課題数：21件
- 提案件数：25件（うち、実施5件）



No. 99

こんなことにも取り組みました

- 【No.90・91】EBPMを活用した行政評価
- 【No.92】最低制限価格制度の実施等による公契約の適正化
- 【No.93】指定管理者制度における公募しない理由（特定指定とする理由）の市ホームページでの公開
- 【No.95】電停に副呼称を付けることができる電停ネーミングライツの導入
- 【No.96】かごしまiマップにおける準用河川の位置情報及び市道の道路幅員に関する情報の公開
- 【No.97】まちかどコメンテーターの人数等の拡充
- 【No.98】中学校区ごとに「市長と語る会」を開催
- 【No.100】CIO補佐官（3年10月）、DX推進サポーター（4年9月）、マーケティングプロデューサー（5年10月）、地域活性化アドバイザー（4年6月、5年6月）など、民間企業での職務経験者を登用